福井大学教育学部
附属義務教育学校

No. 3
令和８年１１月９日

学校だより

相手を理解しようとすることから始まる

校長　　水野 涼子

街路樹の葉も色づき、朝晩はめっきり冷え込むようになりました。子供たちは、わずかな時間でも、晴れ間がのぞくと校庭で体を動かす様子が見られます。早いもので後期に入って２週間も過ぎました。子供たちの制服の色からも秋の深まりを感じているところです。さて、今年度、子供たちには、以下のような話をしてきています。

R8 年４月１３日（月）　前期始業式…「違いを認める」
一人一人、顔も違えば、得意なことも苦手なことも違う。考え方も、感じ方も違います。まずは、自分自身を知ること。そして、自分と相手との違いに気付き、認め合うことから始めてほしい。

R8 年１０月２０日（火）　前期終業式…「自分自身を知る」
違いを認めるとは、相手に合わせたり我慢したりすることではなく、自分を知り、相手との違いを抱えながら共に歩むこと。そのためにも、自分の考えや感じ方を見つめることが大切なのではないか。「自分はどんな人なのか」「これからどう生きたいのか」。前期の経験を、自分自身を知る機会にしてほしい。

R8 年１０月２７日（火）　後期始業式…「脳は行動に従う」
やる気が出るのを待つのではなく、できることから始めてみる。「あいさつ」も、まずは声に出す、行動に移してみることで、自分自身だけでなく、周囲との関係も少しずつ変わっていくのではないか。「人とのつながり」を大切にしている学校だからこそ、授業や学校行事だけではなく、日頃からそのような姿が見える学校であってほしい。

いずれも、自分自身を知り、考え、行動することについての話でした。しかし、学校生活は、自分一人で成り立つものではありません。私たちは、さまざまな人と関わりながら生活し、学び、成長していきます。そこで、もう少し子供たちに考えてほしいこと、私たちも考えたいことがありました。それは、「人と人とが関わること」の意味です。
体育祭を終えた後、後期課程の生徒に、イギリスのことわざ「他人の靴を履いてみる」から、以下のような話をしました。

R8 年１０月７日（火）　後期課程体育祭後の話
「誰かの靴を履いてみること。つまり、他者の立場に立って考えてみること。それが本当の共感であり、社会を動かす力になる」先日の文化祭、特に演劇などにおいて、自分たちの力ですべてを一から作り上げ、運営するプロセスにおいて、決して楽しいだけではなかったはず。その都度「他者の靴を履いて」物事を考えてきたと思う。みなさんが創り上げた体育祭や文化祭は、学校という一つの社会を動かす大きな力となったと思う。

子供たちは、当たり前のように「協働」する姿を見せてくれます。その姿を見ていると、「協働」とは、「自分とは違う立場に立ってみる」「相手にはどんな思いがあり、どんなことを考えているのかを想像してみる」「自分が見ている景色とは違う景色があることに気付く」そして、「相手を理解しようとする」こういったことから始まるのではないかと思います。つまり、人と人との関わりの出発点は、まず相手を理解しようとする気持ちや意識にあるのではないでしょうか。

もちろん、相手の立場に立って考えてみても、その人のことをすべて理解できるわけではありません。それでも、分からないからといって、相手の思いや考えを自分とは関係のないものとして切り離してしまうのではなく、理解しようとし続けること。その姿勢が大切なのではないかと思っています。

先日、大学の先生との対話の中で、「分かち持つ」という言葉に出会いました。相手の思いや考えを、自分とは関係のないものとして切り離すのではなく、自分自身の中にも受け止め、自分なりに考えてみる。すべてを理解できなくても、ともに考え続けようとする。そのような姿勢を表す言葉のように感じました。

本校の研究主題にある「協創」も、こうした人と人との関わりに深くつながっています。それぞれの思いや考え、よさを生かしながら、新しいものを創り出していくこと。違いがあるからこそ、一人では生み出せなかった価値が生まれます。次期学習指導要領に示されている「多様性の包摂」も、こうした学びや社会の在り方と深く関わっています。

子供たち一人一人が自分の思いや考えをもち、互いの違いを認めながら共に学び、新しいものを生み出していく。そんな学校でありたいなと願っています。

＜子供たちの様子＞

○前期課程







↑ **ふぞくスポフェス**　秋晴れのさわやかな気候の中で、子供たちは競技に、係活動に、応援にと、様々な場面で精一杯取り組んでいました。
1年生の競技には後期課程8年生も参加し、大いに盛り上がりました。

↑ スポフェス終了後には、それぞれの色で解団式が行われ、互いの頑張りをたたえ合うことができました。





← **教育振興会事業**
「もりぞーさんのなわとび体験教室」
世界的プロなわとびプレーヤーのもりぞーさんをお招きして、なわとびの上達のコツを教えてもらいました。後半のパフォーマンスショーでは大技を披露し、子供たちも大興奮でした。

○後期課程

↓ **体育祭**　体育祭実行委員が企画し、生徒たちの手で作り上げた体育祭。前期課程6年生との合同種目も行い、力いっぱいの競技や応援で大いに盛り上がりました。







→ **育友会主催「夢講座」**
社会の第一線で活躍されている講師による17の講座が開かれました。体験型のワークショップを行いながら、講師の先生方の思いや信念を聴き、これからの生き方について考えることができました。



